

研究計画書の書き方： チェックリストの例

✔ タイトル（表題）

- 研究の内容を表す主な事項を効率的に要約する
- 一般人が見ても明確である
- 学会の研究者や大学院学生たちの目を引く
- 独立変数と従属変数について詳しく説明する
- 省略語や過度の冠詞使用を避ける

✔ 序説と研究の背景

- 研究における問題点、追及する疑問点、研究目的は何か
- 研究の理論的背景
- 研究の疑問点の答えを見つける重要性
- この研究で焦点をあてるべき最大の問題点
- 研究の疑問点に答える上での最大のチャレンジ
- 研究の相違点を強調、明確にしたか

✔ 研究計画書の重要性

- この研究の結果によって、既存の知識の間隙(ギャップ)を埋めている
- 計画している今回の研究によって、この分野の理解を高める事が出来る
- この研究結果は、一般的に使われている実験のモデルと手法が今後改善される
- この研究結果によって、専門的および実用的な部分で新規発見をもたらす

✔ 文献レビュー

- 一番主な引用先をリストする
- 二番目の引用先をリストする
- 影響を受けた研究論文、模範、様式の記述
- 自分の研究分野で広く受け入れられている研究模範に欠けているものは何か？
- 自分の研究分野で、主な理論、手法、意見の相違は何か
- あなたの研究で浮上した疑問点や問題点が、先行研究の文献にどう関連しているか。既存のアイデアの延長線にあるのか、もしくは逆方向にあるのか

研究計画書の書き方： チェックリストの例

✓ 理論的方法論と設計

- この研究方法は理論研究と実証実験のどちらかを記述
- この研究は博士号論文と修士号論文のどちらか
- 今回選んだ研究方法の動機の説明
- 今回の研究課題や疑問点の答えに導いてくれるであろう特定手法の説明
- 協力してくれた同僚や他の研究者たちを称賛する
- 自ら選んだ方法論の有利な点と不利な点の説明
- あなたの研究や実験のタイムライン
- 同じ分野の他の文献や研究課題と、自分の研究設計を比較対象してみる
- 今回用いる研究方法や材料の他にも、代わりになるような研究方法や材料があるか

✓ 考察と結論

- 研究原案の限界と弱点の説明
- その弱点により時間や資金の制約を余儀なくされて、情状酌量になりうる可能性がある旨の説明
- 今後、疑問点や問題点の回答に導く代用研究があれば、その説明
- この研究が、どのように既存の理論的な構成やモデルに対して、強く支援もしくは挑戦していくか

✓ 引用文献リスト、参考文献リスト

- 全ての引用文献をリストする事
- 引用文献は正しいフォーマット(A P Aスタイル、M L Aスタイル、シカゴスタイル等)に従う事
- 参考文献は序説、文献レビュー、方法論の箇所に置かれる事